

ひろがれ！じんけんネットワーク

7

人権啓発紙

2025
VOL.527

隣保館だより

7月は社会を明るくする運動強調月間及び
青少年の非行・被害防止全国強調月間です

【次ページ】

■ 「人権の小窓」

三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第4次）策定

人権推進課長 藤田英子

【裏面】

■ 7月隣保館カレンダー

■ 読書感想文課題図書紹介



法務局から委嘱されて人権啓発活動をしている人権擁護委員の皆さんが6月4日、三樹幼稚園を訪れ人形劇を通じて園児たちに「友だちと仲良くしてね」と呼びかけました。やなせたかしさんがデザインした「人権あゆみちゃん」も登場し、園児たちは大喜びでした。



ホームページ URL
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sou-gourinpokan/>



人権の小窓 (278)

三木市人権尊重のまちづくり基本計画 (第4次) 策定

人権推進課長 藤田 英子

三木に住んで
よかった

やさしいまちづくりの主演は、私たち一人一人
三木市人権尊重のまちづくり条例が施行されて24年
「みんなでつくる人権尊重のまち」をスローガンに積極的な取組を展開中!!

2001年1月
県内の市で初

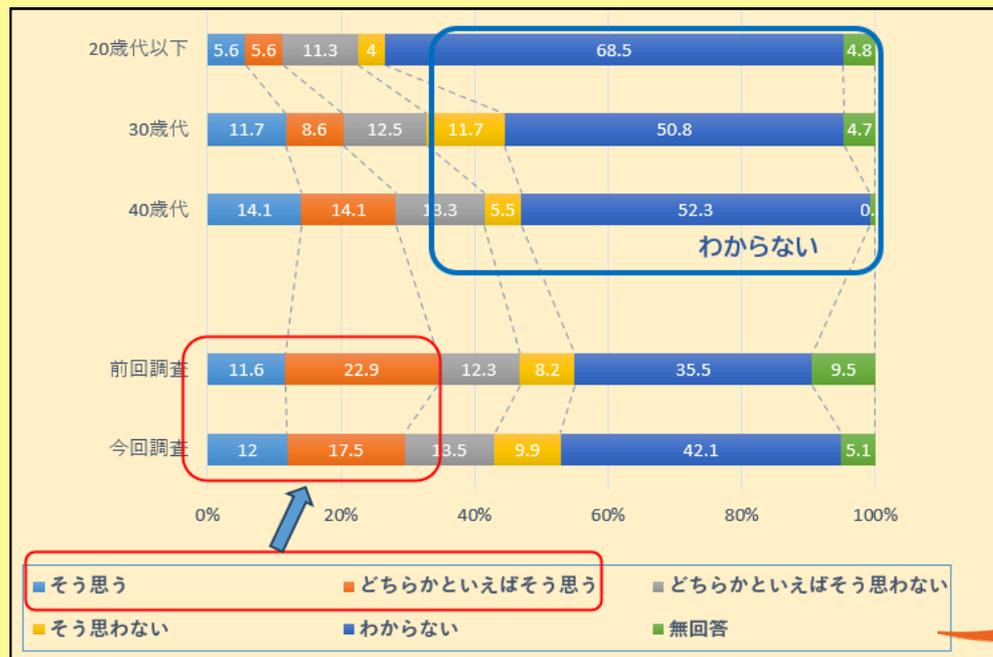
～令和5年に実施した「市民意識調査」の結果から、今後の取組へつなぐために～

質問1 あなたは「人権が尊重される」ということは、どのようなこと
だと思いますか。(いくつでも)

	(%)
いろいろな生き方が認められること	65.2
一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと	63.7
権利が保障され、自由に生活できること	60.9
個人のもつ可能性を発揮する機会を与えられること	42.4
差別に対する救済の手だてがあること	37.0
みんなと仲良くできること	27.3
その他	2.0
無回答	3.1

「人権」が、生活の場において、日常の身近なものとして
根付いてきています。
しかし、一方で・・・

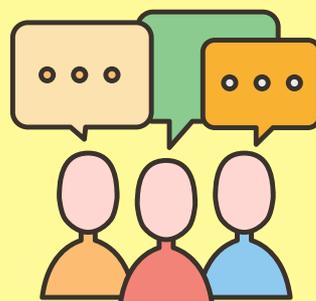
質問2 「今でも、行政から対象地域は特別な扱いを受け優遇されている」
の意見について、あなたはどのように思いますか？



今回の調査では、差別的な発言の問題性
に気づかない人が前回調査より減っている一方で、「わからない」と答えた人が
多く、特に若年層で5～6割という結果
から、同和問題に関する知識や情報が不足しているということがわかります。

人権尊重のまちづくり基本計画(第4次) 策定にご協力いただいた懇話会委員のご意見より (抜粋)

教科書無償化も同和問題を契機として、
すべての地域を対象にすすめられてきた。
「ふるさとに生きる」 vol.31 P3～4参照



2002年に同和对策事業が終了したにもか
かわらず、対象地域が優遇されている
という見方が根強くある。

対象地域の人のためだけではなく、いろいろ
な形で、すべての人の生活がよくなった。

○部落差別が大きな社会問題となっています。

インターネットを悪用した顔の見えない悪質な差別書き込み、差別動画の投稿などによる部落差別の拡散・助長が後を絶たず…。



○差別がなくなる原因は？

部落差別の実態や歴史を正しく知らないために、差別的な言動を容認したり、「自分には関係ない」「何も言わない」といった傍観者的な差別が多く発生しているのではないのでしょうか。

⇒⇒差別解消に向けて、誰もがそれぞれの立場で積極的に取り組むことが「チーム三木」には必要不可欠であると考えます。

⇒⇒条例に基づき、7年間の目標として

「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第4次）」を改定！



基本計画



基本計画

(概要版)

○私たちにできること

○インターネット上に氾濫する情報をうのみにせず、情報を読み解く力を身につける！

○あらゆる世代が、参加したい、参加してよかったと思える住民学習にチェンジしませんか！

○たくさんの笑顔や思いやり（水や肥料）をいっぱい注いだ心豊かな土壌で人権意識の芽を育むために、「人権の畑を耕す」住民学習に参加しましょう



だ だれもが平等で、一人一人がかけがえのない存在！！

い いじめや差別は、絶対に許さない！！

じ 住民同士が、支え合い、つながりあう！！

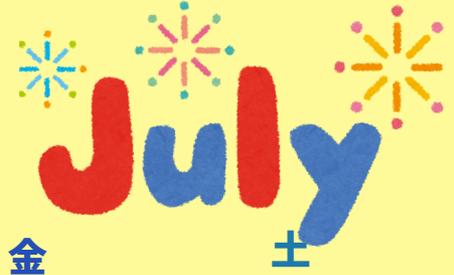
「チーム三木」一丸となって
人と人とのあたたかいぬくもりが感じられる・・・
人権尊重のまちづくりに取り組んでまいりましょう！



2025

7月

隣保館カレンダー



日 月 火 水 木 金 土

		1 経営・職業相談 10:00~	2	3	4 経営・職業相談 10:00~ 人権相談(緑が丘町 公民館) 13:00~ 同和教育セミナー(吉川 町公民館) 19:00~	5
6	7	8 経営・職業相談 10:00~	9	10 手芸サークル 13:30~	11 経営・職業相談 10:00~ 隣保館運営委員会 19:00~	12
13 生命尊重の日	14 エアロビクス講座 14:30~ 国際ノンバイナリー デー	15 経営・職業相談 10:00~	16 茶道教室 9:00~	17 人権相談 (三木市役所) 13:00~	18 経営・職業相談 10:00~ ネルソン・マンデラ 国際デー	19 書を楽しむさらさら教室 13:00~
20	21 海の日	22 経営・職業相談 10:00~	23	24 手芸サークル 13:30~	25 経営・職業相談 10:00~	26 茶道教室 13:00~ 兵庫県人権教育 研究大会東播磨大会 (播磨小学校) 13:00~
27	28 エアロビクス講座 14:30~	29 経営・職業相談 10:00~	30	31		

2025年 読書感想文課題図書 入荷しました!! 隣保館で貸し出しをしています

小学校低学年向け

『ライオンのくにのネズミ』さかとくみ雪
中央公論新社

『ぼくのねこポー』岩瀬成子 PHP研究所

『ともだち』リンダ・サラ ひさかたチャイルド

『ワレワレはアマガエル』松橋利光 アリス館



小学校中学年向け

『ふみきりペンギン』おくはらゆめ あかね書房

『バラクラバ・ボーイ』ジェニー・ロブソン 文研出版

『たった2°Cで...:地球の気温上昇がもたらす環境災害』

キム・ファン 童心社

『ねえねえ、なに見てる?』ビクター・ベルモント 河出書房新社

小学校高学年向け

『ぼくの色、見つけた!』志津栄子 講談社

『森に帰らなかったカラス』ジーン・ウィルス 徳間書店

『マナティーがいた夏』エヴァン・グリフィス ほるぷ出版

『とびたて!みんなのドラゴン:』

『難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険』オザワ部長 岩崎書店

中学校向け

『わたしは食べるのが下手』天川栄人 小峰書店

『スラムに水は流れない』ヴァルチャー・バジャーゴ あすなる書房

『鳥居きみ子:家族とフィールドワークを進めた人類学者』竹内紘子
くもん出版

高等学校向け

『銀河の図書室』名取佐和子 実業之日本社

『夜の日記』ヴィーラ・ヒラナンダニ 作品社

『「コーダ」のぼくが見る世界:聴こえない親のもとに生まれて』
五十嵐大 紀伊國屋書店



人権啓発紙「隣保館だより」7月号

令和7年7月1日発行

三木市市民生活部人権推進課編集

〒673-0501 三木市志染町吉田823

三木市立総合隣保館

TEL 0794-82-8388 FAX0794-82-8658

E-mail:jinken@city.miki.lg.jp